

第6期大樹町総合計画
大樹町デジタル田園都市構想総合戦略

進捗状況及び評価シート

令和8年1月 作成

1 共に支え合い安心して暮らせるまち								
1-1 地域福祉								
Plan	目指す姿	本町に住む誰もが住み慣れた地域で、助け合い、支え合いながら暮らせる地域共生社会の実現を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・ふれあいサポーター養成事業 ・訪問型サービス事業(ふれあいサポート事業) ・介護職員初任者研修事業	
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①地域福祉の総合的な推進 ②福祉の心の醸成 ③相談支援体制の充実						
Check	施策の達成度を測るための指標 心れあいサポーター登録者数【人/年】	基準値(R4)	92	目標値(R10)	108	目標値(R15)	122	【進捗状況と評価】 ・ふれあいサポーター養成講座 R6 1回実施、12名参加 4名新規登録 ・ふれあいサポート事業利用 R6 延べ214名
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	実績値	89	93					
	達成率(対総合戦略)	82.4%	86.1%					
	達成率(対総合計画)	73.0%	76.2%					
	施策の達成度を測るための指標 (このセクションは削除済み)	基準値(R4)		目標値(R10)		目標値(R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
Action	施策の達成度を測るための指標 (このセクションは削除済み)	基準値(R4)		目標値(R10)		目標値(R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
【現状の課題】 ○ サポーターの高齢化により、登録者が減少していく可能性がある。								
【今後の取組み】 ○ ふれあいサポーター養成講座を継続。介護職員初任者研修受講者など、若年層への周知も検討する。								

1 共に支え合い安心して暮らせるまち								
1-2 子育て支援								
Plan	目指す姿	次代を担う子どもたちの健やかな成長のため、地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進します。				Do	【主な取組事業】	
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①地域における子ども・子育て支援 ②幼児教育・保育の充実 ③仕事と子育ての両立支援 ④子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり ⑤支援が必要な子ども・家庭への支援					・児童保育一般経費 ・法人認定こども園 運営事業 ・学童保育所運営事業 ・未熟児養育医療費 助成事業 ・乳幼児及び 児童医療費助成事業 ・児童手当支給事業 ・ひとり親家庭等 医療費助成事業 ・発達支援センター 運営費	
Check	施策の達成度を測るための指標	出生数【人/年】					【進捗状況と評価】 出生数【人/年】では、目標値に対する達成率が低位で推移しているため、各施策の一層の充実化と対象世帯や事業者等への周知が必要	
		基準値 (R4)	35	目標値 (R10)	35	目標値 (R15)		35
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	実績値	32	28					
	達成率(対総合戦略)	91.4%	80.0%					
	達成率(対総合計画)	91.4%	80.0%					
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)		
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
実績値								
達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)								
Action	【現状の課題】							
	○ 出生数【人/年】では、目標値に対する達成率が低位で推移しているため、各施策の一層の充実化と対象世帯や事業者等への周知が必要							
【今後の取組み】								
○ R7 子育て支援室の新設、R8 こども家庭センター設置など、事業実施体制の拡充を図る。								
○ 学童保育所の改築に向け、令和8年度から実施設計を行う。								
○ 出生数が増加した場合の子どもの受け皿確保のため、保育士就労支援補助金制度の創設を検討し保育士確保を図る。								

1 共に支え合い安心して暮らせるまち										
1-3 高齢者福祉										
Plan	目指す姿	すべての高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことができる環境づくりを目指します。				Do	【主な取組事業】			
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①高齢者福祉の総合的な推進 ②介護予防の充実 ③介護サービスの充実 ④生きがい対策の推進					・介護予防普及啓発事業 ・介護予防・日常生活総合事業 ・介護予防ポイント事業 ・地域支援事業 任意事業・独自事業 ・高齢者等通院手段支援事業 ・緊急通報用電話機設置事業			
Check	施策の達成度を測るための指標	要介護・要支援者数【人/年】					【進捗状況と評価】	・介護予防事業サポーター参加数 R6 延1,191名 ・ふまねっとサポーター登録 R6 29名(前年比+5名) ・介護予防ポイント付与 R6 延1,312名 ・配食サービス利用者数 R6 28名 ・高齢者等タクシー券支給者数 R6 117名 ・緊急通報電話機設置 R6 33台 除雪サービス利用者数 R6 35名 ・福祉車輛貸出事業利用者数 R6 延17名 ・介護タクシー利用助成事業 R6 延11名		
		基準値 (R4)	416	目標値 (R10)	376	目標値 (R15)			346	
		年度	R5	R6	R7	R8			R9	R10
		実績値	405	421						
		達成率(対総合戦略)	92.8%	89.3%						
	達成率(対総合計画)	85.4%	82.2%							
	施策の達成度を測るための指標	介護予防教室等参加者数【人/年】								
		基準値 (R4)	2,304	目標値 (R10)	2,683	目標値 (R15)			3,000	
		年度	R5	R6	R7	R8			R9	R10
		実績値	2,467	2,697						
		達成率(対総合戦略)	91.9%	100.5%						
	達成率(対総合計画)	82.2%	89.9%							
施策の達成度を測るための指標	要介護・要支援者数【人/年】									
	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)					
	年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10		
	実績値									
	達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)										
Action	【現状の課題】									
	○ 参加者、サポーターの数は前年より増加しているが、事務局は職員数が減っており、調整などの業務負担が増えている。									
	○ エアコン設置箇所が限られている。									
	○ タクシー券は町内一律の料金のため、郡部住民から増額の要望がある。									
	○ 配食サービス、緊急通報電話機設置事業、除雪サービスは、利用者数が減少傾向。									
【今後の取組み】										
○ 介護予防サポーター養成、新規受入継続。また、事業実施方法見直しのため情報収集を行う。										
○ 熱中症対策では、安心して暮らすことができる環境対策として、町ではエアコン設置の支援を検討する。										
○ R7年度はタクシー券の助成額を中心部からの距離に応じて設定する。										
○ 生活支援に関する事業については、公報やHPの他、老人クラブでの健康教育やケアマネ会議、民生委員協議会などでも周知を行う。										

1 共に支え合い安心して暮らせるまち									
1-4 障がい福祉									
Plan	目指す姿	地域の中で障がいのある人に対する理解が深まり、障がいがあっても住み慣れた地域で自立して生活できる地域社会の実現を目指します。				Do			
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①障がい福祉の総合的な推進 ②社会参加と理解の促進 ③雇用・就労の促進							
Check	施策の達成度を測るための指標	福祉的就労支援利用件数【件/年】					【進捗状況と評価】 福祉的就労支援の利用者数は増加傾向にある。利用者の状況やニーズに応じた多様な支援が提供されるようになってきている。 利用者の増加は、就労を通じて、利用者の社会参加が促進され、就労機会が拡大していることを意味している。		
		基準値 (R4)	231	目標値 (R10)	296	目標値 (R15)		351	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	249	268					
		達成率(対総合戦略)	84.1%	90.1%					
	達成率(対総合計画)	70.9%	76.4%						
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)							
		目標値 (R10)							
		目標値 (R15)							
		年度							
		R5 R6 R7 R8 R9 R10							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)							
目標値 (R10)									
目標値 (R15)									
年度									
R5 R6 R7 R8 R9 R10									
Action	【現状の課題】 ○ 地方では就労支援を受けるために長距離の移動を強いられる。 ○ 障がい種別(身体・知的・精神・発達など)や年齢、生活背景など、利用者の背景は多様である。 【今後の取組み】 ○ 利用者自身が「どのように働きたいか」「どんな生活をしたいか」を主体的に選べる仕組み作り。 ○ 「社会参加・経済的自立」へとつながる包括的支援体制の再構築では、町内で障害者向けの就労施設について今後、検討を始め就労支援を進めます。								

1 共に支え合い安心して暮らせるまち									
1-5 保健・医療									
Plan	目指す姿	住民一人一人が自ら健康づくりや疾病予防に取り組み、生涯にわたり健やかな生活を送ることのできるまちを目指します。				Do			
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①健康づくりの推進 ②感染症対策の推進 ③地域医療体制の充実							
Check	施策の達成度を測るための指標	特定健康診査受診率【%】					【進捗状況と評価】 ・健診案内:広報4月号で健診チラシを全戸配布、ハガキ等での受診勧奨 ・健診実施状況:5月、11月に集団健診、通年各医療機関で個別健診 ・健診結果説明会:6月、1月 ・74歳以下は全員面接 ・75歳以上は必要時面接、家庭訪問や郵送で結果返却 個別健診は随時返却 ・受診率の推移:R2は50.2%で、R5にかけて上昇している ・ひとり当たり医療費:国保のみ R5 330,036円(年) (同規模市町村平均 386,356円)		
		基準値 (R4)	56.9	目標値 (R10)	60.0	目標値 (R15)		60.0	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	58.1%	61.4					
		達成率(対総合戦略)	96.8%	102.3%					
	達成率(対総合計画)	96.8%	102.3%						
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値							
		達成率(対総合戦略)							
		達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
年度		R5	R6	R7	R8	R9	R10		
実績値									
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 脳梗塞や心筋梗塞などの重症化する人は健診未受診者や健診中断者が多く、未受診者勧奨が必要である。未受診者の中には健診中断者がおり、申込を忘れた、いつの間にか期間が過ぎていたなどがあり、声かけを必要な場合がある。家庭訪問や電話で連絡がつかないこともあるため、ハガキによる勧奨も実施している。 ○ 町立病院において良質な医療を提供できるよう、今後も安定的な医療従事者の確保を図るとともに、施設の整備や医療機器の充実について計画的な更新を図る必要がある。 【今後の取組み】 ○ 今後も未受診者勧奨を継続するとともに、受診者の保健指導の質の向上を図ることで健診継続受診者(リピーター)の増加につなげる。 ○ 健診結果で、治療中断者や治療コントロール不良者を把握した場合、医療機関への受診勧奨や生活習慣の改善についてなど、適切かつ効果的な保健指導の実施の継続が必要である。 ○ 町立病院の医療人材確保のため、ホームページやハローワーク等を活用した求人情報の発信、他の医療機関と連携した専門外来の開設や週休日等の当直医師の確保を図るとともに、計画的な設備更新等を実施することで施設の長寿命化を図る。								

1 共に支え合い安心して暮らせるまち									
1-6 社会保障									
Plan	目指す姿	生涯にわたって安心して生活を送ることができるよう、医療・介護等の社会保障制度の適切な運用に努めます。				Do	【主な取組事業】 ・国民健康保険事業 ・後期高齢者医療保険事業 ・介護老人福祉対策事業 ・介護保険事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①低所得者福祉の充実 ②国民健康保険事業の運営 ③介護保険事業の推進 ④国民年金制度の啓発							
Check	施策の達成度を測るための指標	国民健康保険税収納率【%】					【進捗状況と評価】 ・国民健康保険事業については、適切な事業運営を行った。収納率の減は、所得更正に伴い増額が大幅に増となり、この一部が収入未済となったためであり、この未収金がなければ前年の収納率を上回っていたことから、収納率向上の取組の成果となっている。また、広報紙による周知・啓発を実施。 ・社会福祉法人などでの利用者負担額軽減 助成者数 48人 ・介護サービス利用者負担軽減（町単独）助成者数 29人 ・介護保険事業の健全な運営		
		基準値 (R4)	98.3	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		100.0	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	97.9	96.8					
	達成率(対総合戦略)	-							
	達成率(対総合計画)	97.9% 96.8%							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値							
		達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)								
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
年度		R5	R6	R7	R8	R9	R10		
実績値									
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】								
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和12年度の道内統一保険税率適用に向け税率の改正が必要であり、全被保険者の負担増が見込まれている。 ○ 低所得による生計困難者について、介護サービス利用者負担額の軽減を図る必要がある。 ○ 介護保険事業の健全な運営を図る必要がある。 								
Action	【今後の取組み】								
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国・道の交付金を確実に確保するなど、適切な事業運営を行っていく。 ○ 第9期介護保険事業計画に沿って、事業を進めているが、今後策定予定の第10期介護保険事業計画で事業内容の検討が必要である。 ○ 引き続き広報紙やホームページを活用し、十分な周知を行っていく。 								

1 共に支え合い安心して暮らせるまち									
1-7 防災									
Plan	目指す姿	様々な災害や危険から住民の命と暮らしを守る防災体制の確立と防災対策の強化を図ります。				Do	【主な取組事業】 ・防災対策推進事業 ・防災行政無線維持管理事業 ・災害支援体制構築事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①大規模災害への備え ②地域の防災力の強化 ③防災体制の充実 ④防災意識の高揚							
Check	施策の達成度を測るための指標	災害協定数【件/累計】					【進捗状況と評価】 ・令和6年度に、災害時における相互協力に関する基本協定及び災害時における応急生活物資の供給等に関する協定の2件締結。 ・行政区で行っている防災講演時に自主防災組織について説明をしているが、新たな加入にはつながっていない。		
		基準値 (R4)	19	目標値 (R10)	27	目標値 (R15)		30	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	20	22					
		達成率(対総合戦略)	74.1%	81.5%					
	達成率(対総合計画)	66.7%	73.3%						
	施策の達成度を測るための指標	自主防災組織数及び組織率【団体・%】							
		基準値 (R4)	2	目標値 (R10)	10	目標値 (R15)		21	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	2	2					
		達成率(対総合戦略)	20.0%	20.0%					
	達成率(対総合計画)	9.5%	9.5%						
施策の達成度を測るための指標	（このセクションは削除されています）								
	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)				
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値								
	達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 自主防災組織の加入について、行政区で行っている防災講演の時に説明会を行っているが新たな加入までにはつながっていないため、もっと積極的な周知が必要。								
	【今後の取組み】 ○ 千島海溝型巨大地震発生に伴う大津波に備えて、浜大樹、旭地区に津波避難タワーを令和8年度に建設することで進める。 ○ 防災講演以外にも自主防災組織のメリット等を周知し、制度を知ってもらうような取り組みを進める。 ○ 住民課で自主防災活動について助成をしているが、加入数を増やすために、自主防災組織に加入した場合は、補助金の上乗せなども今後検討したい。								

大樹町総合計画及び総合戦略の進捗状況及び評価シート

1 共に支え合い安心して暮らせるまち									
1-8 防犯・交通安全・消費者保護									
Plan	目指す姿	犯罪やトラブルに巻き込まれない意識や知識の普及、交通安全に対する意識の向上や環境づくりを推進します。				Do	【主な取組事業】 ・防犯交通安全推進事業 ・消費者対策事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①防犯対策の推進 ②交通安全対策の推進 ③消費者教育の充実							
Check	施策の達成度を測るための指標	交通安全教室開催数【回/年】					【進捗状況と評価】 ・交通安全指導員の街頭指導実施 期間 4月8日～5月12日 日数・人数 20日 延121人 ・交通安全教室への協力 小学校 1回、こども園 3回 ・巡回パトロール 8回 延35人 ・歳末防犯パトロール 1回 延35人 ・消費生活相談件数 17件		
		基準値 (R4)	3	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		6	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	4	4					
		達成率(対総合戦略)	-						
	達成率(対総合計画)	66.7%	66.7%						
	施策の達成度を測るための指標	消費生活相談出前講座開催数【回/年】							
		基準値 (R4)	3	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		6	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	0	1					
		達成率(対総合戦略)	-						
	達成率(対総合計画)	0.0%	16.7%						
施策の達成度を測るための指標	交通安全協会賛助会員の事業者を開拓し、保留があり成果は得ていない。								
	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)				
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値								
	達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 交通安全協会賛助会員の事業者を開拓し、保留があり成果は得ていない。 ○ 消費生活相談を円滑に行い、消費者トラブルを解決している。 ○ 消費者協会会員が減少している。								
	【今後の取組み】 ○ 交通安全協会賛助会員の声掛けを地道に続ける。 ○ 消費生活相談員の後継者を募る必要がある。 ○ 消費者協会会員の新規会員を随時募集し、事業継続に繋げたい。								

1 共に支え合い安心して暮らせるまち									
1-9 消防・救急									
Plan	目指す姿	消防・救急体制の強化を推進し、地域防災力の向上を図ります。				Do	【主な取組事業】 ・消防団員の確保と教育訓練の強化 ・防火防災意識啓発事業 ・消防車両・資機材の更新、維持管理 ・安全装備品の更新 ・各種災害に対する訓練、知識の普及 ・専門知識を有する人材の確保 ・応急手当の普及啓発推進事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①消防施設の整備 ②消防装備の強化 ③常備消防の強化 ④非常備消防の強化 ⑤火災予防の推進 ⑥救急・救助に関する技術や知識の普及							
Check	施策の達成度を測るための指標	各種救命講習受講者数【人/年】					【進捗状況と評価】 R6 消防団入団人数 5人 消防団退団人数 3人 ・消防団員による防火啓発 火災予防チラシの配布及び防火訪問(年2回 延べ3,203件)、女性消防団員による防火訪問(延べ275件) ・幼年消防クラブ育成指導 防火映画2回 ・消火器取扱訓練の実施 取扱訓練 26回 1,271人 ・災害対応無人航空機(ドローン)購入 ・一般救急講習実施件数 R6 10件 延べ155名 ・普通救命講習実施件数 R6 5件 延べ60名 ・上級救命講習実施件数 R6 1件 延べ1名 合計16件 216名		
		基準値 (R4)	374	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		550	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	287	216					
		達成率(対総合戦略)	-	-					
	達成率(対総合計画)	52.2%	39.3%						
	施策の達成度を測るための指標	消防団員数【人】							
		基準値 (R4)	103	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		105	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	103	105					
		達成率(対総合戦略)	-	-					
	達成率(対総合計画)	98.1%	100%						
施策の達成度を測るための指標	住宅用火災警報器設置率【%】								
	基準値 (R4)	79.0	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)	91.0			
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値	81.0	82.9						
	達成率(対総合戦略)	-							
達成率(対総合計画)	89.0%	91.1%							
Action	【現状の課題】 ○ 消防団の強化は計画どおり進められているが、高齢化等により消防団員の定数確保に課題がある。 ○ 住宅用火災警報器の設置義務化の経過から電池切れの時期を迎えている住宅が増えている。 ○ 地震や台風等による大規模な自然災害や林野火災、特殊な同時多発災害等に対応できる消防車両や資機材・安全装備品の更新を行っていく必要がある。 ○ 誰もが気軽に救急・救命講習を受講できるよう町民並びに企業へ働きかけていく必要がある。								
	【今後の取組み】 ○ 計画的な教育訓練、各種知識を習得する研修を図り、魅力ある消防団づくりを進める。 ○ 各種広報媒体を活用した入団募集活動の継続。 ○ 大樹町内で発生した火災において、住宅用火災警報器による奏功事例もあることから、住宅用火災警報器の設置促進及び電池交換が必要であることを広報する。 ○ 消防車両の更新をはじめ、消防施設・設備、安全装備品を更新し、消防体制の充実強化に努める。 ○ より多くの人に救急・救命講習受講して頂けるよう各種広報媒体を活用し応急手当の普及啓発活動を継続する。								

2 誰もが学び続けられるまち									
2-1 学校教育									
Plan	目指す姿	家庭・地域と連携し、一人一人の子どもが未来における様々な困難を乗り越え、豊かな人生を切り開く「生きる力」を育むことのできる教育の確立を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・外国青年招致事業 ・中高連携教育推進事業 ・スクールバス運行委託事業 ・奨学金貸付事業 ・要保護・準要保護児童 就学援助事業 ・大樹高等学校活性化 推進事業 ・給食調理事業 ・給食材料費		
	施策 ※●番号は 総合戦略項目	①確かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③健やかな体の育成 ●④教育環境の充実 ●⑤就学支援の充実 ●⑥大樹高等学校への支援							
Check	施策の達成度を測るための指標	ICT 活用指導教員割合【%】					【進捗状況と評価】 ・R6 空調設備(エアコン)設置 小学校 普通教室等 24 室 中学校 普通教室等 17 室 ・R6 中学校バリアフリー化改修 ・英語指導助手(ALT)2名招致 ・R6 大樹高等学校通学費等補助 入学時補助 25 名 通学費補助 30 名 ・R6 大樹高等学校検定受験料等補助 78 件 40 名 ・R6 大樹高等学校海外見学旅行費補助 29 名 ・R6 奨学金等貸付者数 69 名 (うち R6 新規貸付 5 名) R6 給食調理事業 IH 連続ワイヤ- 1台 給食コッテ- 2台		
		基準値 (R4)	91.1	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		100.0	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	91.5	91.1					
		達成率(対総合戦略)	-	-					
	達成率(対総合計画)	91.5%	91.1%						
	施策の達成度を測るための指標	「考え、議論する」道徳授業に取り組む児童生徒割合【%】							
		基準値 (R4)	89	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		95	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	90.4	87.8					
		達成率(対総合戦略)	-	-					
	達成率(対総合計画)	95.2%	92.4%						
施策の達成度を測るための指標	週の総運動時間が 60 分以上の児童生徒割合【%】								
	基準値 (R4)	小 89.3 中 83.7	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)	小 94.0 中 87.0			
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値	小 88.1 中 77.5	小 87.7 中 81.2						
	達成率(対総合戦略)	-	-						
達成率(対総合計画)	小 93.7% 中 89.1%	小 93.3% 中 93.3%							
Action	【現状の課題】 ○ 一人一台端末の有効活用が図られるよう教育の質を向上させ、子どもたちの情報活用能力の育成を図ることが求められる。 ○ 児童生徒が教科体育の授業以外で運動に取り組める時間を増やすなど運動習慣を定着することが求められる。 ○ 大樹高校への入学者を確保するための方策について検討が必要である。 ○ 給食センターは、平成14年に開設して以来 22 年が経過しており、計画的な機器の更新が必要となっている。								
	【今後の取組み】 ○ 学校における ICT 環境を整備し学習環境の改善と充実を図る。 ○ 大樹高校への入学者確保を図るため、入学者に対する支援を充実させるとともに、大樹高校の魅力発信を強化する。 ○ 給食センターは、施設老朽化に伴う機器更新、修繕を図りながら、安全安心な給食の提供に努める。								

2 誰もが学び続けられるまち									
2-2 社会教育									
Plan	目指す姿	住民一人一人の年代や生活スタイルに応じて、個人の生き方や考え方に広がり豊かさをもたらすため、地域と一体となって社会教育の推進を図ります。				Do	【主な取組事業】 ・社会教育推進事業 ・青少年教育推進事業 ・家庭教育推進事業 ・高齢者教育推進事業 ・生涯学習事業 学社融合事業 ・地域学校協働本部事業 ・子ども交流事業 ・図書館管理運営事業		
	施策 ※●番号は 総合戦略項目	①社会教育施設の充実 ②学習機会の充実 ③学習活動の支援 ④指導者、指導体制の充実 ⑤地域全体で育てる体制づくり ⑥青少年の健全育成							
Check	施策の達成度を測るための指標	生涯学習センター利用者数【人/年】					【進捗状況と評価】 ・大樹町体験活動支援協議会主催事業 R6 11回 延べ 230人 ・自主学級 R6 6学級 延べ 382人 ・地域学校協働活動推進員の設置 R6 2名 ・図書館のあり方検討協議会 R6 4回開催 ・図書館管理システムのバージョンアップを実施。R7年度には、管理システムの更新を行う。 ・利用実態を基に、実施行事の時期、内容の見直しの実施。入館者の増加 ・町内学校との連携により、団体貸出の増加、選書内容の見直しを随時実施。		
		基準値 (R4)	31,155	目標値 (R10)	35,000	目標値 (R15)		40,000	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	30,556	31,319					
		達成率(対総合戦略)	87.3%	89.5%					
	達成率(対総合計画)	76.4%	78.3%						
	施策の達成度を測るための指標	図書館入館者数【人/年】							
		基準値 (R4)	10,234	目標値 (R10)	11,000	目標値 (R15)	12,000		
		年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
		実績値	10,496	13,380					
		達成率(対総合戦略)	95.4%	121.6%					
	達成率(対総合計画)	87.5%	111.5%						
施策の達成度を測るための指標	 基準値 (R4) 目標値 (R10) - 目標値 (R15) 								
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値								
	達成率(対総合戦略)								
	達成率(対総合計画)								
Action	【現状の課題】 ○ 引き続き、社会教育施設の計画的な修繕、改修に努める。 ○ 既存の事業について、現状に応じた規模や方法による実施へと見直す必要がある。 ○ 図書館について、利用状況を見ながら、必要な蔵書構成の保持に勤めているが、近年の物価高騰により、図書費の額に対して、購入できる図書数が減ってきている。 ○ 図書館での実施行事の参加状況を見ながら、行事の精査が必要。 【今後の取組み】 ○ 社会教育施設の屋根や壁などの改修を行い、適切な施設管理に努める。 ○ 団体や利用者のニーズを適切に把握し、やりがい・学びがいが生まれるよう支援する。 ○ 紙の図書購入と電子書籍の導入を実施した場合について、利用者の要望・効果を検討する。 ○ 図書館機能向上のため、蔵書の適切な管理、除籍を継続して実施する。 ○ 令和6年度と令和7年度の2か年をかけて開催した図書館のあり方検討協議会の協議を踏まえ、今後の町立図書館の整備について検討を進めてく。								

2 誰もが学び続けられるまち									
2-3 スポーツ									
Plan	目指す姿	子どもから高齢者まで、誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動の機会拡充に努め、技術の向上と健康増進を図ります。				Do	【主な取組事業】 ・社会体育推進事業 ・町民スポーツ大会 開催事業 ・海洋スポーツ振興事業 ・町技普及振興事業 ・保健体育推進事業 ・学校開放事業 ・スポーツクラブ 育成事業		
	施策 ※●番号は 総合戦略項目	①スポーツ活動・プログラムの充実 ②クラブ・団体の育成 ③施設の充実・運営 ④支える人材の育成							
Check	施策の達成度を測るための指標	社会体育施設利用者数【人/年】					【進捗状況と評価】 社会体育施設利用者数内訳 ・B&G 海洋センター アリーナ 9,844 人 プール 6,036 人 艇庫 675 人 ・武道館 2,632 人 ・高齢者健康増進センター 7,125 人 ・中央運動公園 中央町民球場 3,879 人 ソフトボール場 1,369 人 テニスコート 3,671 人 スケートリンク 2,362 人 センターハウス 264 人 ・中学校体育館 1,697 人		
		基準値 (R4)	32,794	目標値 (R10)	44,000	目標値 (R15)		42,000	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	43,342	39,554					
	達成率(対総合戦略)	98.5%	89.9%						
	達成率(対総合計画)	103.2%	94.2%						
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
		年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
		実績値							
		達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)								
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)	-	目標値 (R15)			
年度		R5	R6	R7	R8	R9	R10		
実績値									
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 体育連盟加入者数の減少など、スポーツに親しむ人が少なくなっているため、幼児から高齢者まで各世代全体が楽しめるスポーツの場を継続して提供していく必要がある。								
	【今後の取組み】 ○ 引き続きスポーツ機会の充実と活動拠点の充実を図る。								

2 誰もが学び続けられるまち									
2-4 文化									
Plan	目指す姿	まちの伝統や文化財を保護し、確実に後世に伝えるとともに、住民一人一人が文化活動に触れることのできる環境づくりを目指します。				Do	【主な取組事業】 ・社会教育推進事業 ・高齢者教育推進事業 ・生涯学習センター 文化事業 ・文化財保護事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①文化財の調査・保存・活用 ②郷土芸能・伝統技術の保存・活用 ③芸術・文化による魅力づくり ④芸術・文化活動の推進 ⑤団体・指導者の育成							
Check	施策の達成度を測るための指標	芸術鑑賞及び文化事業数【回/年】					【進捗状況と評価】 ・大樹町教育の日交流会 R6より合唱鑑賞の場を設定 ・アートギャラリー事業 R6 11回実施 ・大樹町芸術鑑賞協会事業 R6 4回実施		
		基準値 (R4)	24	目標値 (R10)	26	目標値 (R15)		30	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	20	22					
		達成率(対総合戦略)	76.9%	84.6%					
	達成率(対総合計画)	66.7%	73.3%						
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)	10,234	目標値 (R10)	11,000	目標値 (R15)		12,000	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値							
		達成率(対総合戦略)							
		達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)	-	目標値 (R15)			
年度		R5	R6	R7	R8	R9	R10		
実績値									
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ アートギャラリー展については、展示方法の工夫や作品募集範囲の工夫をしたことについて、概ね好評を得た。不易と変化を見極めながら、実施する必要がある。 ○ 公演事業について、実施目的を明確にしながら、文化協会と協力しながら企画・運営する。								
	【今後の取組み】 ○ 郷土資料について、近隣町村及び帯広百年記念館貯蔵の資料と見比べ、大樹町として保存保管していくべき資料の精選と整理を進める。 ○ 公演事業については、十勝管内の公演情報を集めながら、多様な鑑賞機会の創出に努める。								

3 豊かな資源を活かし挑戦を続けるまち									
3-1 農業									
Plan	目指す姿	持続可能な農業生産基盤の構築と環境保全や資源循環に対応した生産活動の推進を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・北海道中山間地域等直接支払い交付金事業 ・各種団体育成事業 ・防疫事業 ・牧場管理運営費 ・草地畜産基盤整備事業 畜産担い手総合整備型 ・多面的機能支払交付金事業 ・小規模土地改良事業 ・農業経営基盤強化資金 利子補給事業 ・畜産特別資金 利子補給事業 ・経営所得安定対策等 推進事業 ・各種団体助成事業 ・農業担い手単身者住宅 維持管理事業 ・農業新規就農者 受入助成事業 ・環境保全型農業 直接支援対策事業 ・鳥獣被害対策事業 ・農業委員会運営事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①農地の整備促進 ②排水設備の整備 ③農地の保全、地力向上の推進 ④農道の整備促進 ●⑤経営の改善促進 ⑥指導体制の充実 ●⑦生産組織、農業団体の育成 ●⑧担い手の育成 ●⑨酪農・畜産の振興 ●⑩新規作物の開発と産地形成 ●⑪環境保全型農業の推進 ●⑫鳥獣被害対策 ●⑬バイオマスの利用促進							
Check	施策の達成度を測るための指標	バイオガスプラント設置【基】					【進捗状況と評価】 ・家畜の予防接種 R6 延べ14,050回 ・防疫車の運行 R6 利用戸数93戸 ・町営牧場家畜受託業務 R6 利用戸数14戸 ・日平均受託頭数483.8頭 ・草地の整備・造成 R6 草地整備158.97ha ・小規模土地改良事業 R6 10件12事業 ・鳥獣被害対策事業(導入費用に対する助成) R6 鳥獣被害防止施設25件 捕獲用箱罠1件 ・農用地利用集積計画による 集積 所有権の移転 6件、15筆、32.5ha 利用権等の設定 148件、232筆、1220.0ha ・農地保有合理化事業 買入事業 5件、20筆、34.2ha 売渡事業 10件、29筆、80.7ha		
		基準値 (R4)	4	目標値 (R10)	6	目標値 (R15)		6	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	4	4					
		達成率(対総合戦略)	66.7%	66.7%					
	達成率(対総合計画)	66.7%	66.7%						
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
		年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
		実績値							
		達成率(対総合戦略)							
		達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
年度		R5	R6	R7	R8	R9	R10		
実績値									
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									

	<p>3 豊かな資源を活かし挑戦を続けるまち</p>
	<p>3-1 農業</p>
Action	<p>【現状の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主に圃場へのふん尿散布時に生じる家畜排せつ物による臭気対策が課題となっていることから、圃場への適正施用や腐熟度の高い堆肥の散布、バイオガスプラント由来の臭気の少ない消化液の活用などの取組みを促進する必要がある。 ○ 農業就業人口が減少していることから、引き続き、後継者対策を推進するとともに、鳥獣被害対策の強化や ICT を農業経営や生産に活用することによる労働力の軽減が必要である。 ○ 生産資材の高騰等により、コスト低減のためにも農地の集積・集約化の促進により農地の生産性向上や優良農地の保全が必要。 <p>【今後の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ バイオマス利用促進事業によりバイオガスプラント等の導入を支援し、環境負荷の少ない循環型社会の形成を推進するとともに、地域農林漁業の活性化を図る。 ○ 大樹町農業担い手センターと情報共有を図りながら、新規就農希望者への相談体制を充実させるほか、新規就農者に対する奨励金事業を継続する。 ○ 鳥獣被害防止施設や捕獲用箱罠の導入費用に対する支援を継続するほか、ICT 機器を活用するなど鳥獣被害対策の効率化を図る。 ○ 農地の集積・集約化の促進を継続。

3 豊かな資源を活かし挑戦を続けるまち									
3-2 林業									
Plan	目指す姿	計画的な森林整備を進め、森林の持つ多面的・公益的機能を発揮するとともに、資源環境の取組を推進します。				Do	【主な取組事業】 ・有害鳥獣駆除事業 ・森林作業員就業条件整備事業 ・林業振興事業 ・森林環境整備促進事業 ・豊かな森づくり推進事業 ・町有林整備事業 ・崩和山森林公園維持管理事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①計画的な森林整備の推進 ②経営の近代化促進 ③木材加工、流通の促進 ④森林の多面的機能の利用 ⑤治山事業の推進							
Check	施策の達成度を測るための指標	町有林植栽面積(ha/年)					【進捗状況と評価】 令和6年度 新植 7.07ha		
		基準値 (R4)	9.47	目標値 (R10)	10.42	目標値 (R15)		11.36	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	5.49	7.07					
		達成率(対総合戦略)	52.7%	67.9%					
	達成率(対総合計画)	48.3%	62.2%						
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値							
		達成率(対総合戦略)							
		達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
年度		R5	R6	R7	R8	R9	R10		
実績値									
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 森林のもつ多面的機能が発揮されるよう、森林経営計画に基づき維持管理を行っていく必要がある。								
	【今後の取組み】 ○ 今後も引き続き、地域の環境の保全と持続可能な森林経営の実現を目指さなければならない。								

3 豊かな資源を活かし挑戦を続けるまち									
3-3 水産業									
Plan	目指す姿	漁港や漁場の整備を着実に進めるとともに、漁業資源の適切な管理と養殖漁場を推進します。				Do	【主な取組事業】 ・漁業近代化資金利子補給事業 ・沿岸漁業資源増殖試験事業 ・ホッキ貝増殖事業 ・ワカサギ増殖事業 ・水産多面的機能発揮対策事業 ・北海道赤潮対策緊急支援事業 ・水産物加工施設整備事業 ・大樹町漁業振興事業 ・養殖漁業成長産業化推進事業 ・養殖施設導入事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①漁家経営の体質強化 ②生産基盤の整備 ③増養殖漁業の推進 ④流通の改善と加工の促進 ⑤遊漁・観光・他産業との調和 ⑥秋サケの資源確保と増殖事業の推進 ⑦漁業協同組合運営の安定化							
Check	施策の達成度を測るための指標	増養殖漁業取扱漁獲量【トン/年】					【進捗状況と評価】 R6 年度漁獲量 ・ホッキ貝:73.4t ・エソバイ粒:63.7t ・シジミ:3.4t ・サクラマス		
		基準値 (R4)	140	目標値 (R10)	165	目標値 (R15)		182	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	162	140					
		達成率(対総合戦略)	98.2%	84.8%					
		達成率(対総合計画)	89.0%	76.9%					
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値							
		達成率(対総合戦略)							
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 海洋環境の変動による影響を受けて漁業資源の減少が顕著となり、主力魚種である秋鮭の不漁もあって、漁業経営は厳しい状況である。								
	【今後の取組み】 ○ 安定的な水産資源の確保を図るため、今後も関係機関と協力して資源管理や増養殖事業の推進を図り、本町の漁業活性化に努める。								

3 豊かな資源を活かし挑戦を続けるまち									
3-4 商工業									
Plan	目指す姿	商工業者の経営の安定化を図るとともに、用地やインフラ整備を進め、企業誘致を推進し、地域活力の向上を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・商工指導対策事業 ・TMO 活動推進事業 ・起業家等支援事業 ・中小企業融資資金 利子補給事業 ・地場産業振興 奨励事業 ・地場産品研究センター 運営費		
	施策 ※●番号は 総合戦略項目	①商業の育成 ②魅力ある商店街づくり ③起業の支援 ④経営の近代化促進 ⑤企業誘致の推進 ⑥地場産品の開発、研究、製品化に向けた支援							
Check	施策の達成度を測るための指標	創業支援事業活動件数(令和2年度以降の累計)【件】					【進捗状況と評価】 ・創業支援事業(旧起業家等支援事業) R6:4件(新規) ・地場産業振興奨励事業 R6:4件(新規)		
		基準値(R4)	10	目標値(R10)	20	目標値(R15)		25	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	15	19					
		達成率(対総合戦略)	75.0%	95.0%					
	達成率(対総合計画)	60.0%	76.0%						
	施策の達成度を測るための指標	地場産業振興奨励事業活用件数(令和2年度以降の累計)【件】							
		基準値(R4)	7	目標値(R10)	15	目標値(R15)		20	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	8	12					
		達成率(対総合戦略)	53.3%	80.0%					
	達成率(対総合計画)	40.0%	60.0%						
施策の達成度を測るための指標	基準値(R4)								
	目標値(R10)								
	目標値(R15)								
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値								
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 経営基盤の強化と空き店舗の活用のほか、地場産品研究センターの今後の在り方。								
	【今後の取組み】 ○ 創業支援事業や地場産業振興奨励事業の活用推進のほか、魅力ある商店街づくりを目指し、道の駅コスモール大樹の運営方法等検討している。								
	○ 地場産品研究センター機能の一部移転など、利用しやすい環境整備を検討したい。								

3 豊かな資源を活かし挑戦を続けるまち									
3-5 観光									
Plan	目指す姿	地域資源を活かした体験型観光を推進するとともに、道の駅の機能強化による観光客の誘致拡大を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・観光振興対策事業 ・晩成温泉維持管理費 ・カムイコタン公園 維持管理費 ・コスモスガーデン 維持管理費		
	施策 ※●番号は 総合戦略項目	①体験型観光の推進 ②観光PRの強化 ③観光資源の発掘と活用の推進 ④道の駅の機能充実							
Check	施策の達成度を測るための指標	観光入込客数【人/年】					【進捗状況と評価】 (R6) 観光入込客数 48,700名 上半期の入込数はイベントのスケールアップに伴い増加したが、全体的には晩成温泉旅館(12月～2月)もあり減少している。		
		基準値 (R4)	46,000	目標値 (R10)	63,800	目標値 (R15)		63,800	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	57,200	48,700					
		達成率(対総合戦略)	82.6%	76.3%					
		達成率(対総合計画)	82.6%	76.3%					
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値							
		達成率(対総合戦略)							
		達成率(対総合計画)							
		施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)			目標値 (R15)	
年度	R5		R6	R7	R8	R9	R10		
実績値									
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 地域資源を活かした体験型メニューの充実など、観光客の誘致拡大を図る必要がある。 ○ 情報発信拠点として、道の駅の活用について検討したい。								
	【今後の取組み】 ○ SNSなどを活用した観光PR強化のほか、ロケット打ち上げ時のイベント開催など、引き続き航空宇宙関連との連携に取り組んでいく。 ○ 情報発信拠点である道の駅の活用を推進し、当町を訪れる方に満足頂けるよう、道の駅の魅力アップに向けた検討を進めていきたい。								

3 豊かな資源を活かし挑戦を続けるまち									
3-6 航空宇宙									
Plan	目指す姿	北海道スペースポート(HOSPO)の整備により、企業誘致や新産業創出を促進し、人口増加や地域経済の活性化を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・多目的航空公園管理 運営事業 ・宇宙のまちづくり 推進事業 ・北海道スペースポート 整備事業		
	施策 ※●番号は 総合戦略項目	①航空宇宙関連実験等の誘致促進 ②航空宇宙ビジネスや実験誘致のための宇宙港整備 ③企業誘致を雇用創出の促進 ④観光客・視察者の誘致 ⑤脱炭素化の促進と農林水産業の発展 ⑥航空宇宙人材の育成 ⑦宇宙のまちづくりの意識づくり ⑧宇宙のまちづくりに向けた活動、ネットワーク化の促進							
Check	施策の達成度を測るための指標	ロケット打ち上げ回数(令和4年度以降の累計)【回】					【進捗状況と評価】 ・ロケット打上げ数 R6 2回 ・企業誘致数 R6 2社 ・視察受入数 R6 1,577人 ・直接雇用人数 R6 30人		
		基準値(R4)	0	目標値(R10)	15	目標値(R15)		50	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	2	4					
		達成率(対総合戦略)	13.3%	26.7%					
	達成率(対総合計画)	4.0%	8%						
	施策の達成度を測るための指標	航空宇宙関連企業誘致数(令和元年度以降の累計)【社】							
		基準値(R4)	7	目標値(R10)	10	目標値(R15)		13	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	9	11					
		達成率(対総合戦略)	90.0%	110.0%					
	達成率(対総合計画)	69.2%	84.6%						
	施策の達成度を測るための指標	教育旅行・企業視察受入人数【人/件】							
基準値(R4)		2,000	目標値(R10)	10,000	目標値(R15)	20,000			
年度		R5	R6	R7	R8	R9	R10		
実績値		2,327	1,577						
達成率(対総合戦略)		23.3%	15.8%						
達成率(対総合計画)	11.6%	7.9%							
施策の達成度を測るための指標	製造業による直接雇用人数(令和元年度以降の累計)【人】								
	基準値(R4)	70	目標値(R10)	130	目標値(R15)	370			
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値	83	113						
	達成率(対総合戦略)	63.8%	86.9%						
達成率(対総合計画)	22.4%	30.5%							
Action	【現状の課題】 ○ 航空宇宙産業は各産業分野との相乗効果が高く、一次産業のスマート化、企業誘致、住環境整備、観光分野、教育分野といった主要政策と連携した取組として具体化していく必要がある。また、宇宙のまちづくりを進めるためには、住民に対して、多くの媒体を活用した情報発信と、講演会やイベント等を開催し住民の理解を得ながら進める必要がある。								
	【今後の取組み】 ○ 多様な宇宙関連実験が実施できる環境整備を進めるほか、宇宙を核とした地方創生を推進するとともに住民理解を促進するための取組みを継続する。								

3 豊かな資源を活かし挑戦を続けるまち								
3-7 雇用・勤労者対策								
Plan	目指す姿	就労を望む誰もが安心して働き続けるため、働く場の確保を雇用環境の改善を図ります。				Do	【主な取組事業】 ・通年雇用促進支援事業 ・勤労者センター運営費 ・とち勤労者共済センター事業 ・退職金共済制度加入促進対策事業	
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①雇用機会の拡大促進 ②勤労者福祉の充実						
Check	施策の達成度を測るための指標 基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)	【進捗状況と評価】		
	年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標 基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
	年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標 基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)			
	年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
実績値								
達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)								
Action	【現状の課題】 ○ 就労の場の拡大と雇用環境の改善							
	【今後の取組み】 ○ 帯広及び南十勝通年雇用促進支援協議会が実施する「通年雇用促進支援事業」への協力と、従業員の福利厚生の上昇を図るためあおぞら共済への加入促進を図る。							

4 美しい自然と共生する持続可能なまち									
4-1 環境保全・脱炭素化									
Plan	目指す姿	豊かな自然や雄大な景観など、まちの貴重な財産を守りながら、住民や地域、事業者等と一体となってゼロカーボンシティの実現を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・ゼロカーボン推進事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①環境保全の意識づくり ②自然環境の保護 ③自然保護活動の推進 ④海岸の保全 ⑤脱炭素社会の構築							
Check	施策の達成度を測るための指標	太陽光発電システム導入補助件数(令和4年度以降の累計)【件】					【進捗状況と評価】 ・ゼロカーボン推進協議会 令和6年度 1回開催 ・公共施設LED化 R6 ・町立病院 ・下水終末処理場 ・住吉浄水場		
		基準値(R4)	2	目標値(R10)	10	目標値(R15)		17	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	4	8					
		達成率(対総合戦略)	40.0%	80.0%					
	達成率(対総合計画)	23.5%	47.1%						
	施策の達成度を測るための指標	街灯のLED化率【%】							
		基準値(R4)	48.0%	目標値(R10)	65.0%	目標値(R15)		100%	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	50.3	52.1					
		達成率(対総合戦略)	77.4%	80.2%					
	達成率(対総合計画)	50.3%	52.1%						
施策の達成度を測るための指標									
	基準値(R4)		目標値(R10)		目標値(R15)				
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値								
	達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 脱炭素社会の実現に向けては、住民や事業者等の意識の醸成と共有を図るため、より積極的な情報発信が必要である。								
	【今後の取組み】 ○ 一般家庭向け省エネ家電買い替え支援制度の創設を検討する。								

4 美しい自然と共生する持続可能なまち								
4-2 ごみ・リサイクル・し尿・環境美化								
Plan	目指す姿	ごみの減量化と地域環境への負荷軽減が図られた持続可能な循環型社会の形成を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・環境衛生事業 ・じん芥処理事業 ・行政区推進事業	
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①循環型社会の形成促進(ごみの減量化とリサイクルの推進) ②不法投棄対策の推進 ③し尿収集・処理の充実 ④清掃・美化活動の推進						
Check	施策の達成度を測るための指標 一般廃棄物量(トン/年)	基準値 (R4)	1,987	目標値 (R10)	1,840	目標値 (R15)	1,743	【進捗状況と評価】 指定ごみ袋販売数(1束10枚入) 合計:18,762束 燃えるごみ 14,282束 燃やせないごみ 3,387束 燃えないごみ 1,093束 収集箇所数 市街地 196か所 郡部 86か所 収集量(委託収集分のみ) 燃えるごみ 705,780kg 燃やせないごみ 12,810kg 燃えないごみ 139,300kg 資源ごみ 153,020kg 啓発活動 広報「たいぎ」掲載 12回 行政区長会議 3回 出前講座 2回
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	実績値	1,918	1,930					
	達成率(対総合戦略)	95.9%	95.3%					
	達成率(対総合計画)	90.9%	90.3%					
	施策の達成度を測るための指標 基準値 (R4)			目標値 (R10)		目標値 (R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標 基準値 (R4)			目標値 (R10)		目標値 (R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
実績値								
達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)								
Action	【現状の課題】 ○ 当町は管内で人口が12番目だが、事業系のごみは5番目に多い状況のため、減量化の周知を行っていく必要がある。 ○ R6年度は、不法投棄として5件の通報があり、取締りの強化、町民への啓発が必要である。 ○ し尿等の処理は、まちの許可業者が実施し、市街地については、公共下水道の普及により、年々収集量は減少している。 ○ 空き地の雑草等の除去周知と除去困難者からの申請に基づく除去を行う必要がある。							
	【今後の取組み】 ○ 事業系ごみを搬出している事業所に対して、分別の徹底について周知が必要。 ○ 年に2回「まちをきれいにする日」を実施。一斉清掃日の設定・周知を図るとともに、清掃活動を支援する。 ○ し尿収集許可業者との協力体制の強化を図っていく。 ○ 空き地の雑草等の除去周知を継続して実施していく。							

4 美しい自然と共生する持続可能なまち								
4-3 上下水道								
Plan	目指す姿	快適な居住環境を確保するため、良質な水の安定的な供給と生活排水の適切な処理を推進します。				Do	【主な取組事業】 ・水道事業基本計画 策定 ・配水管路整備 ・検定満期メータ器更新 ・老朽消火栓更新 ・スマートメータ導入 事業 ・大樹公共下水道事業 ・個別排水処理施設 整備事業	
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①安定した水源の確保 ②水道施設の整備 ③上下水道事業の健全経営 ④公共下水道の整備 ⑤雨水処理対策の推進						
Check	施策の達成度を測るための指標	水道有収率【%】 基準値 (R4) 86.9% 目標値 (R10) - 目標値 (R15) 90.0%					【進捗状況と評価】 水道事業 ・基本計画により坂下エリアの施設更新の方針を位置付け ・配水管路整備 R6 配水管布設 73.50m ・検定満期メータ器 R6 更新 162 基 ・老朽消火栓 R6 更新 2 基 大樹公共下水道事業 ・R6 大樹下水終末処理場電気設備更新(インバータ盤) ・R6 汚水管渠実施設計 鏡町 197.78m 南町 161.76m 個別排水処理施設整備事業 ・R6整備 9 基	
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	実績値	85.3	87.0					
	達成率(対総合戦略)	-	-					
	達成率(対総合計画)	94.8%	96.7%					
	施策の達成度を測るための指標	下水道有収率【%】 基準値 (R4) 92.3% 目標値 (R10) - 目標値 (R15) 94.5%						
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	実績値	94.1	96.0					
	達成率(対総合戦略)	-	-					
	達成率(対総合計画)	99.6%	101.6%					
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4) 目標値 (R10) 目標値 (R15)						
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
実績値								
達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)								
Action	【現状の課題】 ○ 料金収入は横ばいで推移しているが、修繕費や動力費等の営業費用が上昇傾向であるため経常収支比率、累積欠損金、料金回収率、給水原価が悪化している。 ○ 上水道施設の老朽化や原水の濁度対策が必要となっており、運営面においても、財政状況を踏まえた経営戦略に基づき、健全運営を目指していく必要がある。 ○ 下水道施設の老朽化対策や機器の更新が必要であり、財政状況を踏まえた経営戦略や令和 7 年度に策定するストックマネジメント計画に基づき、運営の健全化を目指す必要がある。							
	【今後の取組み】 ○ 経営戦略を改定し、適切な水準へ料金を改定するとともに、経費節減等幅広く経営改善に向けた取り組みを進める必要があると考える。 ○ 基本計画に基づき、十勝中部広域水道企業団から受水するための施設整備を進める。 ○ 管路や消火栓、メータ器等の必要な更新を継続して実施する。 ○ 経営戦略や令和 7 年度に策定するストックマネジメント計画に基づき、施設の更新を進める。							

4 美しい自然と共生する持続可能なまち									
4-4 道路									
Plan	目指す姿	日常生活での移動に必要な道路網の安全性や利便性を高め、誰もが安心・快適に利用できる道路整備を推進します。				Do	【主な取組事業】 ・町道維持管理事業 ・橋梁長寿命化事業 ・町道改良舗装事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①主要幹線道路の整備促進 ②国道・道道の整備促進 ③町道の整備 ④除雪・排雪体制の効率化							
Check	施策の達成度を測るための指標	橋梁安全度Ⅲ以上の橋梁【橋】					【進捗状況と評価】 ・橋梁長寿命化事業による安全度Ⅲ補修完了橋数 令和6年度 2 橋 (振別 24 号橋、五月橋) ・総延長に対する町道舗装率 令和6年度 総延長 L=543.8 km 舗装延長 L=212.6 km (改良舗装工事) 幸町 12 号線改良舗装工事 L=232.12m 振別団地 8 号線改良舗装工事 L=64.70m		
		基準値 (R4)	5	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		0	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	5	3					
		達成率(対総合戦略)	-	-					
	達成率(対総合計画)	0%	60%						
	施策の達成度を測るための指標	町道舗装率【%】							
		基準値 (R4)	39.0%	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		40.0%	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	39.0	39.1					
		達成率(対総合戦略)	-	-					
	達成率(対総合計画)	97.5%	97.8%						
施策の達成度を測るための指標									
	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)				
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値								
	達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 町道のうち国道や道道、公共施設等に接続する幹線町道の整備はほぼ完了しているが、市街地内の未整備路線沿いに住宅やマンション等の新築が増えてきているため、道路の改良舗装を計画的に進めるとともに、子どもや高齢者、障がいのある人等を事故から守る対策も必要となっている。また、道路・橋梁の多くは建設から 50 年以上経過するものが増加していくことから、定期点検やパトロールを一層徹底し、予防的な修繕や計画的な架け替えを着実に進めていくことが必要。 ○ 町道の除雪については、今後、運転手の高齢化や人員不足が予想されるなかで、冬道の安全な交通の確保や日常生活に支障がでないよう、除雪体制の効率化が必要。								
	【今後の取組み】 ○ 既存道路の適切な維持管理や、生活道路および交通安全施設の整備、橋梁の長寿命化を行い、歩行者に優しく良好な地域環境の保全を図っていく。 ○ 道路における除雪・排雪体制を維持するため、人員不足に対応した「除雪機械の 1 人乗り化」の推進を図っていく。								

4 美しい自然と共生する持続可能なまち									
4-5 公共交通									
Plan	目指す姿	将来に渡って住民の交通手段を確保するため、誰もが安心して移動できる利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・企画調整推進事業 ・コミュニティバス 運行事業		
	施策 ※●番号は 総合戦略項目	①生活バス路線の確保 ②コミュニティバスの利便性向上 ③持続可能な公共交通の確保							
Check	施策の達成度を測るための指標	コミュニティバス利用者数【人／年】					【進捗状況と評価】 令和6年度 コミュニティバス運行日数： 142日		
		基準値 (R4)	544	目標値 (R10)	2,750	目標値 (R15)		3,000	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	2,498	2,243					
		達成率(対総合戦略)	90.8%	81.6%					
	達成率(対総合計画)	83.3%	74.8%						
	施策の達成度を測るための指標	 基準値 (R4) 39.0% 目標値 (R10) - 目標値 (R15) 40.0% 							
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値							
		達成率(対総合戦略)							
		達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	 基準値 (R4) 目標値 (R10) 目標値 (R15) 							
年度		R5	R6	R7	R8	R9	R10		
実績値									
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 利用者数については、目標 2,500 人以上に対し 2,243 人と目標値を達成することができず、前年度と比較しても、日当たり利用者数は減少していることから、今後も継続的な利用促進を図っていく。								
	【今後の取組み】 ○ 今後さらに利用者を増加させていくためには、より周知活動に力を入れることも重要であるため、引き続き、HP での周知や、配布している市街地循環バス-コミュニティバス「コスモ」の路線図・時刻表を掲載したチラシに加え、十勝バス広尾線なども含めたバスマップの作成を進める。 ○ 令和7年度に郊外部の交通解消を目的とした、公共ライドシェアの実証実験を行う。								

4 美しい自然と共生する持続可能なまち								
4-6 公園・緑地								
Plan	目指す姿	住民の多様なニーズや生活様式の変化を踏まえた幅広い世代の住民に利用される公園づくりを推進します。				Do	【主な取組事業】 ・新公園整備事業 ・公園維持管理費 ・歴舟川パークゴルフ場維持管理費	
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①公園の整備、維持管理 ②緑化の推進						
Check	施策の達成度を測るための指標 公園新規・再編整備件数【件】	基準値 (R4)	0	目標値 (R10)	1	目標値 (R15)	2	【進捗状況と評価】 ・公園整備状況 R6 年度に大樹町みどりの基本計画再編方針により柏林公園の整備が決定 R7 年度に R8 からの事業着手に向けて設計
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	実績値	0	0					
	達成率(対総合戦略)	0.0%	0.0%					
	達成率(対総合計画)	0.0%	0.0%					
	施策の達成度を測るための指標 基準値 (R4)			目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標 基準値 (R4)			目標値 (R10)		目標値 (R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
実績値								
達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)								
Action	【現状の課題】 ○ 公園新規・再編整備が進む中、既存公園における遊具の老朽化が進んでいる。 ○ 公園や歴舟川パークゴルフ場内における樹木の老朽化が著しく、強風等による倒木が頻発している。							
	【今後の取組み】 ○ 既存公園の遊具更新を計画的に進め、幅広い年代の地域住民にとってより愛着が感じられる空間となるよう維持管理に努める。 ○ 令和9年度の新公園開設に向け、令和7年度から実施設計に着手する。							

4 美しい自然と共生する持続可能なまち									
4-7 住環境									
Plan	目指す姿	公営住宅の計画的な更新や空き家等の有効活用など、必要な住宅政策を進めるとともに、移住定住を促進する宅地の分譲など、住みよい住環境づくりを目指します。				Do	【主な取組事業】 ・住宅リフォーム支援事業 ・マイホーム支援事業 ・公営住宅建設事業 ・空き家対策等支援事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①市街地の整備・改善 ②住環境の整備促進 ③公営住宅の整備 ④空き家対策							
Check	施策の達成度を測るための指標	新規住宅戸数(令和4年度以降の累計)【戸】					【進捗状況と評価】 ・公営住宅の整備については市街、郊外共に建替えや除却を実施することで、住環境の確保と整備の促進を図っている。(令和5年度:日方団地整備完了、令和6年度以降:寿町団地整備着手等) ・マイホーム補助金の申請件数については、継続的に例年10件以上の実績があり、近年は新築住宅に加え、中古住宅購入に伴う利用も増加傾向。		
		基準値 (R4)	13	目標値 (R10)	91	目標値 (R15)		150	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	26	44					
		達成率(対総合戦略)	28.6%	48.4%					
	達成率(対総合計画)	17.3%	29.3%						
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4) 39.0% 目標値 (R10) - 目標値 (R15) 40.0%							
		年度 R5 R6 R7 R8 R9 R10							
		実績値							
		達成率(対総合戦略)							
		達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4) 目標値 (R10) 目標値 (R15)							
年度 R5 R6 R7 R8 R9 R10									
実績値									
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ リフォーム支援補助金については、近年のニーズに対応できる制度としての見直しが必要。 ○ 公営住宅については、耐用年数を経過している住棟のストック数が依然多い傾向にあり、継続的な建替え計画の推進が必要。 ○ マイホーム支援補助金については、近年の多様化する住宅仕様等に対応できる新たな支援メニューが求められており、定期的な見直しが必要。 ○ 人口減少や高齢化、相続問題等の原因により増加傾向にあり、除却や流通等の推進を目的とした対策が必要。								
	【今後の取組み】 ○ 公営住宅等長寿命化計画に基づき、需要と供給のバランスに配慮しながら団地毎の建替え計画について検討を進める。 ○ 事業の継続と、近年の住宅事情に配慮した施策の検討により、移住定住の促進を図る。 ○ 空き家対策を総合的かつ継続的に推進するために民間団体等との連携を図る。								

4 美しい自然と共生する持続可能なまち								
4-8 火葬場・墓地								
Plan	目指す姿	火葬場・墓地の適切な維持管理に努めます。				Do	【主な取組事業】 ・墓園管理費	
	施策 ※●番号は 総合戦略項目	①火葬場の維持・整備 ②墓地の維持・整備						
Check	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)	【進捗状況と評価】 大樹・開進・尾田・旭の4箇所の墓園を町が管理	
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
実績値								
達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)								
Action	【現状の課題】 ○ 火葬場は、当町と幕別町忠類地区の利用を対象としているが、火葬場の老朽化に伴う改築も想定しながら、今後も利用状況に応じた改修、整備が必要である。 ○ 大樹・開進・尾田・旭の4箇所の墓園を町が管理しており、墓地の環境整備として、雑草除去や樹木の剪定を行うこと。また、少子高齢化の社会事情を踏まえ、合同納骨塚について検討を行っていくことが必要である。							
	【今後の取組み】 ○ 火葬場の維持管理を努めるとともに、施設の改築に向けた検討を進めます。 ○ 墓地の周辺環境の整備とともに、引続き維持管理を継続して実施していく。 ○ 少子高齢化の社会状況を踏まえ、合同納骨塚について、調査対象を 20 歳以上の世帯主、800名(無作為に抽出)へアンケートを実施する。							

5 地域共創やデジタル化が進むまち									
5-1 コミュニティ・協働									
Plan	目指す姿	住民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を果たす、地域が一体となった協働のまちづくりを推進します。				Do	【主な取組事業】 ・行政区推進事業		
	施 策 ※●番号は 総合戦略項目	①自治意識の高揚 ②行政区組織の育成 ③コミュニティ活動の促進 ④まちづくり活動への参画機会の拡大 ⑤男女共同参画社会の実現 ⑥多様な主体とのつながりの形成							
Check	施策の達成度を測るための指標	地域コミュニティ事業補助件数【件/年】					【進捗状況と評価】 ・地域コミュニティ推進事業件数 26 行政区		
		基準値 (R4)	26	目標値 (R10)	33	目標値 (R15)		40	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	25	26					
		達成率(対総合戦略)	75.8%	78.8%					
	達成率(対総合計画)	62.5%	65.0%						
	施策の達成度を測るための指標	審議会等における女性委員割合							
		基準値 (R4)	14.0%	目標値 (R10)	24.0%	目標値 (R15)		30.0%	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	17.5	18.0					
		達成率(対総合戦略)	72.9%	75.0%					
	達成率(対総合計画)	58.3%	60.3%						
施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)								
	目標値 (R10)								
	目標値 (R15)								
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値								
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】								
	○ 近年、外国人の転入が増えており、コミュニティ活動への参加を促すことが必要である。								
	○ 各行政区では、環境美化や福祉など、今後も自治意識が高まるように促しながら、自主的な活動を支援していくことが必要。								
	○ 男女が互いに人権を尊重し合い、一人ひとりの個性や能力を発揮できる社会を形成することが必要。								
	○ 町民、事業所、関係団体の多様な主体の参画を促すことが必要。								
	【今後の取組み】								
○ 地域コミュニティの活性化のため、多くの町民の参加・協力できる体制づくりを行う。									
○ 青年層の地域コミュニティ活動の参加促進が必要と、今後も行政区の自主的な活動を支援する。									
○ 男女の枠に捉われず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を発揮できる社会を目指す。									
○ 多様な主体の参画を促し、パートナーシップを構築し、効果的な事業展開を目指す。									

5 地域共創やデジタル化が進むまち									
5-2 交流・移住定住									
Plan	目指す姿	町内外の企業、学校、個人など、多様な人が定期的・継続的にまちに関わりを持ち、地域に暮らす人とつながる仕組みを構築することにより、新たな人の流れの創出と交流人口・関係人口の拡大を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・移住促進事業 ・企画調整推進事業 ・若手芸術家地域担い手育成事業 ・都市間交流推進事業		
	施策	<ul style="list-style-type: none"> ①移住・定住の促進 ②世代間交流の推進 ③地域の特性を活かした交流の推進 ④国際交流の推進 							
Check	施策の達成度を測るための指標	ワーキングステイ住宅・移住希望者向け住宅利用件数(令和2年以降の累計)【件】					【進捗状況と評価】 ・ワーキングステイ住宅利用件数 R6 8件 延べ238日 ・移住コーディネーターの設置 R6 1名 移住・交流フェアへの出展 R6 4回 ・姉妹都市「相馬市」、友好都市「吉岡町」、銀河連邦共和国間との交流、物産展の開催		
		基準値(R4)	14	目標値(R10)	55	目標値(R15)		100	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	19	27					
		達成率(対総合戦略)	34.5%	49.1%					
	達成率(対総合計画)	19.0%	27.0%						
	施策の達成度を測るための指標	サテライトオフィス・コワーキングスペース等設置件数(令和2年以降の累計)【件】							
		基準値(R4)	3	目標値(R10)	4	目標値(R15)	5		
		年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
		実績値	3	3					
達成率(対総合戦略)		75.0%	75.0%						
達成率(対総合計画)	60.0%	60.0%							
施策の達成度を測るための指標									
	基準値(R4)		目標値(R10)		目標値(R15)				
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値								
	達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 移住や定住、関係人口の創出拡大に向けた受入体制の整備や積極的な情報発信を行っていく必要がある。								
	【今後の取組み】 ○ 利用の少なかった移住希望者向け住宅は令和7年度に廃止し、ワーキングステイ住宅として整備することで、より多くの移住希望者に利用してもらえるようにする。 ○ 移住交流フェアへの出展を継続するなど、移住希望者への情報提供を継続することでワーキングステイ住宅利用増につなげる。								

5 地域共創やデジタル化が進むまち									
5-3 情報通信・デジタル化									
Plan	目指す姿	Society5.0 時代に対応するため、地域内における ICT 化を推進し、住民の利便性向上と行政事務の効率化を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・自治体オンライン 手続推進事業		
	施策 ※●番号は 総合戦略項目	①情報通信・デジタル化の普及促進 ②効率的な行政事務の推進							
Check	施策の達成度を測るための指標	マイナンバーカード交付率【%】					【進捗状況と評価】 ・ R7 年 4 月から競争入札参加申請受付の追加を行っているが、他のメニューについては、町民を対象とした DX アンケート結果に基づき検討中		
		基準値 (R4)	69.9%	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		90.0%	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	72.0	80.5					
		達成率(対総合戦略)	-	-					
	達成率(対総合計画)	80.0%	89.4%						
	施策の達成度を測るための指標	オンライン化した行政手続きの項目【項目】							
		基準値 (R4)	0	目標値 (R10)	15	目標値 (R15)		20	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	7	7					
		達成率(対総合戦略)	46.7%	46.7%					
	達成率(対総合計画)	35.0%	35.0%						
施策の達成度を測るための指標	（このセクションは削除されています）								
	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)				
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値								
	達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ マイナポータルにおけるオンライン申請手続きの仕組みは構築したが、周知及び町 HP とのリンク面で不足がある。また、マイナポータル以外のオンライン申請は現在検討中である。								
	【今後の取組み】 ○ 町公式 LINE 等からの入口を構築することにより、周知及び利用率を上げる。 ○ 町民を対象とした DX アンケート結果に基づくニーズに対応した申請手続き種別の追加検討。								

5 地域共創やデジタル化が進むまち									
5-4 行財政									
Plan	目指す姿	住民生活に最も身近な行政機関として、質の高い住民サービスを提供するとともに、歳入と歳出のバランスが取れた行財政運営を目指します。				Do	【主な取組事業】 ・行財政改革推進委員会経費 ・企画調整推進事業 ・広報広聴事業 ・ホームページ管理運営事業 ・大樹町史発行事業		
	施策 ※●番号は総合戦略項目	①効率的な行政運営 ②総合計画及び総合戦略の進行管理 ③広報・広聴の充実 ④健全な財政運営 ⑤公共施設の整備・活用 ⑥ふるさと納税の推進							
Check	施策の達成度を測るための指標	経常収支比率[%]					【進捗状況と評価】 ・行財政改革の取組み 町営牧場使用料など4件の見直し ・役場組織機構の見直し ・大樹町デジタル田園都市構想総合戦略 令和6年度 策定 ・まちづくり推進協議会 令和6年度 2回開催 ・お気軽トーク 6会場で開催 計55人参加 ・町長と語る会 4つの行政区、団体から要望計39人参加 ・まちづくりの私の意見 6件 ・記録映像撮影 4日間撮影 ・CMS全面リニューアル		
		基準値 (R4)	88.6%	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		88.6%	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	89.6	86.7					
	達成率(対総合戦略)	-	-						
	達成率(対総合計画)	-	-						
	施策の達成度を測るための指標	実質公債費比率[%]							
		基準値 (R4)	9.5%	目標値 (R10)	-	目標値 (R15)		13.0%	
		年度	R5	R6	R7	R8		R9	R10
		実績値	9.5	10.0					
	達成率(対総合戦略)	-	-						
	達成率(対総合計画)	-	-						
施策の達成度を測るための指標									
	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)				
	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	実績値								
達成率(対総合戦略)									
達成率(対総合計画)									
Action	【現状の課題】 ○ 広報紙や無線放送、公式LINEで情報を発信しているが、町民に届いているのか不明。広報紙読まない、無線放送聞かない、公式LINE登録したくないという町民に対して情報を届ける方法がない。								
	【今後の取組み】 ○ 効率的な住民サービスを提供しながら、健全な町財政を維持する。(財政シミュレーション作成、計画的な事業執行、適正な人員配置など) ○ 総合計画及び総合戦略については、本シートと実施計画の点検によりローリングする。 ○ 広報紙、公式LINEをブラッシュアップする。 ○ 開町100年に向けて、記録映像の撮影を継続し、100年記念誌の作成も進める。								

5 地域共創やデジタル化が進むまち								
5-5 広域行政								
Plan	目指す姿	住民の生活圏拡大への対応や事務事業の効率化を図るため、関係機関や関係市町村との連携強化を推進します。				Do	【主な取組事業】 ・総合開発推進事業	
	施 策	※●番号は総合戦略項目 ①広域行政の推進 ②広域的な取組の推進						
Check	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)	【進捗状況と評価】 ・十勝圏複合事務組合 ・とかち広域消防事務組合 ・十勝定住自立圏	
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
	実績値							
	達成率(対総合戦略)							
	達成率(対総合計画)							
	施策の達成度を測るための指標	基準値 (R4)		目標値 (R10)		目標値 (R15)		
	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10
実績値								
達成率(対総合戦略)								
達成率(対総合計画)								
Action	【現状の課題】 ○ 特になし							
	【今後の取組み】 ○ 引き続き、広域的な課題解決に向け、関係自治体や関係団体と連携した取組を推進する。							